

## 読売新聞 きょう（4月26日）のイチ押し

### 1面・社会面 知床観光船事故 死者11人に 全員水死

北海道・知床半島沖で観光船「KAZU I（カズワン）」が消息を絶った事故で、新たに3歳女児の死亡が確認され死者は11人となりました。15人の安否がまだ不明のままです。発生から3日経った今も船体は見つかっておらず、沈没した可能性もあります。

- ★ 船には乗客乗員26人が乗っていました。これまでに11人が見つかり、検視の結果、全員が水死でした。大きな外傷はなく、2～4度という低水温で短時間に身動きが取れなくなり、溺れたとみられます。
- ★ 新たに見つかった3歳女児と一緒に乗船していた両親はまだ見つかりません。遺体と対面した祖父母は、何度も名前を呼びながら顔をなで、声を上げて泣いていたそうです。
- ★ 観光船の出航時、波は約30センチと穏やかでしたが、4時間後には3メートルを超える荒波に。現場海域には出航前から波浪注意報が出されており、1管と北海道警は業務上過失致死などの容疑で捜査する方針です。

### 1面・2社面 福知山脱線事故から17年 悲しみ今も

乗客106人が犠牲になり、562人が負傷した2005年のJR福知山脱線事故から17年となりました。兵庫県尼崎市の事故現場に整備された追悼施設では、コロナ禍で中止されていた追悼慰霊式が3年ぶりに営まれました。娘を亡くした女性は、事故の1年後から日記をつけるようになりました。「話せないのなら、語りかけたい」と毎日、娘が亡くなってからの日数を書き入れ、何げない日常を娘に語りかけるようにつづっています。書き留めた思いは、大学ノートで23冊にもなりました。時を経ても悲しみが癒えることはありません。一日でも娘のことを忘れることもありません。女性はこれからも日記を書き続けると思いを定めています。

#### 他紙と比べて

開幕から1か月となるプロ野球。決め球のフォークボールで完全試合を達成したロッテ・佐々木投手の快投に注目が集まっています。本紙スポーツアドバイザーの堀内恒夫さんと鹿取義隆さんが、プロの目線で、その決め球について、スポーツ面（19面）で分析しています。